FSC 認証持続化・次世代担い手育成及び拡大推進事業

＜株式会社佐久について＞

南三陸町内にある森林･林業経営会社であり､およそ 270 ha の山林を管理している。主に、南三陸杉、檜、赤松の生産を行い、約 3,000 ㎥/年の丸太を出荷している。近年では広葉樹林業もいち早く取り入れている。母体となる佐藤家は江戸時代からなる町内有数の林家であり、指導林家や宮城県青年林業師を担っている。震災後、持続可能な林業を目指し、作業班 3 人を含む社員 5 人を雇用し、環境配慮型持続可能林業を県内でもいち早く取り入れ、森林経営における確たるノウハウを蓄積してきている。

また、2015 年には南三陸森林管理協議会の設立を主導し、その後 FSC 認証担当の事務局として、県内初の FSC 認証取得とその継続をリーダーシップを持って担ってきた。

さらに、FSC 認証基準に定められる山林モニタリング手法として、植生調査を取り入れており弊社がその調査を担っている。植生調査の蓄積データは、近年広まっているネイチャーポジティブの観点から注目されている。

弊社は宮城県・東北内でも FSC 認証を誰よりも熟知・活用し、そのノウハウを南三陸森林管理協議会内に共有・蓄積している。

2023.1.6 撮影　株式会社佐久一同（撮影場所：南三陸町内管理山林）

＜背景＞

南三陸森林管理協議会（以下「MFSA」）は 2015 年 10 月に FSC 認証を取得し、南三陸町有林を含む森林管理の質の向上と、南三陸杉の利用促進及び PR 活動を行ってきた。2016 年には南三陸町役場庁舎の建設において、公共建築としては日本初の FSC プロジェクト全体認証を取得し、そのノウハウ開発は宮城県行政と協力して佐久が先導して行った。同時に、役場庁舎の FSC プロジェクト認証事業は、宮城県周辺の FSC 認証木材流通の基礎を構築する事業となり、これをきっかけに宮城県林業においても FSC 認証は 1 つのジャンルとして位置付けられ、南三陸町並びに MFSA はそのリーダーとしてのポジションを確立することができた。

また、MFSA はコミュニケーションツールとして FSC 認証を活用し、山林ガイドや企業コラボにより、FSC 認証並びに南三陸杉の PR を行ってきた。スターバックスやイオングループ、patagonia、LUSH、WWF、ANA など多くの企業とも交流し、先進的な活用事例をもつ FSC 認証団体としてポジションを獲得し、多くのメディアで紹介されながら、国立競技場や宮城県庁など多くの重要な場所に南三陸杉が活用される事例が多くなっている。

株式会社佐久は MFSA の事務局として、これらの事業の他 FSC 認証審査対応の取りまとめ、および継続と普及啓発に率先して貢献してきた（沿革参照）。

＜現状の課題＞

今後南三陸町における FSC 認証を継続・実施する上で、現在 3 つの課題がある。

1. 審査対応等事務局の後継者の課題
2. FSC 認証林の面積拡大の伸び悩み
3. FSC 認証及び、南三陸杉の更なる価値化と普及

課題 1 は、MFSA における審査対応・取りまとめの業務を、認証取得時から弊社の担当者 1 人で行ってきており、ノウハウの蓄積は十分できた。しかしながら、今後、次世代の FSC 認証を熟知する人材育成を行うことで、継続性と拡張性を持たせることが課題になる。

課題 2 について、FSC 認証山林は森林経営計画が立てられている山林であることが最低条件となる。しかしながら、当町の山林は小規模分散型の山林所有形態であり、これにより経営計画を立てられている山林が少ない現状である。また、小規模山林所有者は、持続可能な山林経営を行うノウハウを持てず、放置林が広がっていることが、当町の林業全体の課題である。この課題には、集約化を行い所有者に変わって山林経営を行うプレイヤーが必要になる。この課題は、FSC 認証材の出荷量上昇・安定供給においても重要である。

課題 3 ついて、現在でも FSC 認証及び南三陸杉の PR を行っているが、より強化する必要がある。現在の南三陸杉をはじめとする FSC 認証製品は、多く開発されてきたが、独自性をより高めないと、ブランド力の向上が滞ることが予想される。

近年、世界的に気候変動対策に続いて、生物多様性への対策が上場企業を中心に、金融界でも義務化の方向で進んでいる。2021 年 6 月には企業が自然への依存度や影響を把握し開示する枠組みをつくる「自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD)」が設立され、2021 年 10 月と 2022 年 12 月に開催された第 15 回生物多様性条約締約国会議（COP15）では、「遅くとも 2030 年までに生物多様性の損失を逆転させ回復させる」ことを明記した「昆明宣言」が発表され「ネイチャーポジティブ」がキーワードになっている。MFSA は、2022 年度より WWF ジャパンと共同で TNFD の示すフレームワークによる、FSC 認証の情報を活用した自然関連情報の開示のパイロット事業を行ってきており、2023 年 6 月から順次、その成果を発表する。

今後の木材ブランドの可能性として、「商品の品質」+「高品質な自然情報の開示」による価値づけが注目されており、MFSA と南三陸杉はその価値付けに一番近い存在として注目されている。南三陸杉並びに FSC 認証製品において、新時代のブランド価値を付加するチャンスであり、その為には開発された商品の流通拡大が必要になる。

＜新規事業提案＞

①南三陸町森林管理協議会事務局サポート（次世代担い手育成）事業

審査対応等、MFSA の事務局業務をパートナーとして実行し、次世代の FSC 認証を熟知し、展開する人材を育成する。

・FSC 認証審査における審査員との質疑応答
・FSC マニュアルの更新
・審査員からの指摘事項に関する対応
・教育訓練大会等のプロデュース
・FSC 認証及び南三陸杉の PR 事業

2022.9.27 FSC 年次監査
主任審査員：木村直貴氏（アミタ株式会社)、
審査員：汐見崇史氏(アミタ株式会社)、
オブザーバー：橋本務太氏（WWF ジャパン）

②新規 FSC 認証山林拡大事業

課題 2 の解決策として、佐久のこれまでのノウハウを活かし、多くの小規模山林の集約化を行い、山林所有者の「山守」になるため事業を新規に行う。山林所有で山林経営としてのノウハウを持たない方から、長期の山林経営受託を受け集約化を行う。一般的に、個人事業主など単発での事業（1 回の間伐など）の請け負いによる施業される例が町内でもあるが、伐採届未提出や無計画伐採であることが多い。佐久は、財産運用としての長期目線での計画的山林経営を行うことができ、FSC 認証基準に乗っ取った責任ある管理を行うことができる。

経営受託した山林は、弊社の森林経営計画に取り込み、宮城県認定と FSC 認証林の登録することで、結果的に FSC 認証林の拡大を行う。

・山林所有者との交渉及び説明会の開催
・南三陸町森林管理制度や南三陸森林組合と連携し、集約化、管理設計の取りすすめを行う。

2023.3.1 南三陸町森林施業集約化
地権者説明会＠戸倉公民館

③FSC 認証製品及び南三陸杉の新規付加価値向上事業

現在、商品開発は多くされている。新規販路拡大や、PR 活動を強化していく。
また、生物多様性などの新たな価値付けなども定義し PR していく。付加価値を高める為、流通拡大や新規販売手法の検討していく。

・南三陸杉・広葉樹の活用法考案及び流通・販路の開拓
・FSC 認証材による薪の流通・販路拡大
・ネイチャーポジティブや TNFD（※）による南三陸杉の新たな付加価値創造
・展示会等によるネイチャーポジティブを意識する企業への PR
・生態系サービスを活用した新たな山林活用の検討

（※）2023 年 6 月 21 日（水）16:00～18:00
「生物多様性スクール 2023」―気候変動問題との同時解決を
第 4 回「生物多様性と金融」にて、佐藤太一専務取締役が登壇予定
南三陸森林管理協議会で実践したFSC認証とTNFDの親和性調査を事例紹介として発表する（8月に別イベントで詳しく再度発表予定）。
WWF ジャパン公式サイト
https://www.wwf.or.jp/event/organize/5328.html?fbclid=IwAR0L-ml_VvrYkTTmDQ4QIo2jbZdcq-UOWAvTMttSUIyRzm65PDU7NVbWiwE

2022.4.9
低密度植林（カラマツ）イベント
「ゆたやまプロジェクト」2 日目
＠南三陸町志津川字内山山林

2023.1.30
新春勉強会 2023「TNFD ってなんだろう？
-FSC 認証と TNFD の今後について-」
＠南三陸研修センター

沿革

2015年5月	南三陸森林管理協議会　設立
2015年7月	FSC認証FM認証　取得審査
2015年10月	FSC認証　FM認証取得　1314.85 ha
2015年11月	FSC認証　製材・製品　製造開始
2015年11月	初めてのFSCチェックツリーツアー実施
2016年4月	南三陸町新庁舎建設ＦＳＣ認証材利用プロジェクトグループ設立総会
2016年10月	FSC認証第一回年次監査　にて1525.81 ha に拡大 FM部会　入谷生産森林組合が加入
2016年10月	平成28年度県産材利用促進功労者表彰
2017年8月	南三陸町役場庁舎　FSCプロジェクト全体認証取得 公共建築では日本初
2018年2月	南三陸町 南三陸森林管理協議会 Meet The Photo/大槻真巳 共催写真展　「南三陸で働くひと～FSC材「南三陸杉」で伝える山里海のいとなみ～」
2018年2月	ウッドデザイン賞2018 奨励賞　南三陸町役場
2019年11月	南三陸町産業功労賞　受賞
2020年2月	日本初　新築戸建　個人宅　FSC全体プロジェクト認証取得
2020年6月	FSC認証第一回更新審査にて　認証林2481.36haに拡大
2020年10月	全日空へ　FSC材模型　寄贈
2021年7月	国立競技場に南三陸杉（FSC認証材）使用される。